

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達センターあつた		
○保護者評価実施期間	2025年12月17日		～ 2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2025年12月17日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達 の状況について共通理解ができています。 職員にとっては、保護者等の意見を把握する機会を設け、その 内容を業務改善につなげている。	子どもの捉えをクラス単位だけでなく職員全体で捉え合うこと を行っている。 反省点や保護者の意見を加味し、行事などの運営につなげている。	親御さんのニーズも踏まえて、今の体制の中でどうやってい くかを今後も検討、改善をしていく。
2	家族に対して、家族支援プログラムや家族等も参加できる研修 会や情報提供の機会等が行われている。	家族が参加しやすいように土曜日に行事を設定したり、水曜日に 月1回は保護者研修を実施している。	参加の対象を固定せず、保護者のニーズに合わせた内容の検 討や、魅力的な内容を検討していく。
3	職員の資質を向上するために研修を受講する機会や、法人内で 研修を開催する機会を確保している。	研修費の補助。自分で希望する研修を選択できる。職員にもど んな研修が受けたいのかを聞いている。	職場内研修の充実を図っていく。職員からの案を出してもら い研修内を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備の面で、生活空間や生活面での環境改善が課題	築50年ほどの建物なので、老朽化やバリアフリー化はされて いない。	可能な範囲で修繕や清掃を行い、安心・安全に過ごせる環境 を整えていきます。必要な場合には、危険箇所も含め早急に 修繕を行い、大規模修繕に関しては、名古屋市と検討してい きます。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流やその地域で他の子 どもたちと交流する機会があまりない。	コロナ禍以降交流が途絶えてしまった。	地域の保育施設や場所で、交流できる機会を作っていきます。
3	自己評価の回収率が7割。	紙面で回収していた時は回収率がよかった。Googleフォーム で回収するようになってからはこのくらいの回収率になってい る。	自己評価の回収率の7割をどう考えるか。回収率を上げるた めの工夫を何か考えていく。